

東日本大震災から10年

早いものであの日から10年が経ちました。当時、教頭職1年目だった私は職員室で地震を感じましたが、硬い岩盤の上に建つ校舎だったので揺れは小さかったことを覚えています。地震がおさまったころ市教育委員会から「被害の状況を確認するように」という連絡が入りました。そのとき、これは大きな災害になるのかもしれないと思いました。

ニュースを見ると、東北地方をはじめとして東京を含めて東日本が大災害に見舞われていることを知りました。その後に津波が街や人、車などを一気に流してしまう光景を画面越しに見て足がすくんでしまいました。

あの震災からもう10年も過ぎたのかと時間の流れの速さに驚くとともに、震災の風化を心配します。17日に卒業式を行う6年生でさえ当時は2歳児ぐらいです。当時の記憶はほとんどないでしょう。阪神淡路大震災、東日本大震災を経験した私たち教職員はこれからもこの体験を子どもたちに伝えていかねばならないと思います。

毎週日曜日、朝6時のNHKニュースの後に「目撃につぼん」というドキュメンタリー番組があります。40分程度ですが、毎回特定の一人にスポットをあてて話が展開します。その内容はかなり濃密で毎回心が動かされます。この7日には原発事故により避難した福島県の窯元たちのその後を追いかけていました。あの津波が引き起こした原発事故は、伝統工芸・伝統文化の存続にまで影響を与えていることを初めて知りました。

「目撃につぼん」のテーマ曲は「夜明けのまなざし」というピアノ曲です。作曲はウォン・ウィンツァンです。やさしく、きれいで、しっとりとした音楽です。番組のクライマックスにぴったりの曲です。ぜひ聴いてみてください。

東日本大震災から10年の今日を機会に、防災について関心を持つ人が今以上に増えることを願います。